

## 「道路と交通論文賞」講評

\*技術部門 論文選考委員長 小根山 裕之

第42回「道路と交通論文賞」の技術部門については、令和3年度に掲載された論文2編のうち、主執筆者が教授職であり選考対象外となった1編を除いた候補論文1編を対象として、論文賞選考委員会にて審査を進めた。

本委員会での慎重な審査の結果、西川悟史氏、大澤浩司氏による「休憩施設駐車場における効率的な駐車マス配置変更による効果検証」を授賞論文とした。

近年、SA・PAにおける大型車の駐車マス不足により夜間の駐車場混雑が発生し、不適切な場所への駐車やそれに伴う追突事故の発生など問題が生じており、その解決が喫緊の課題となっている。本論文は、大型車による駐車場混雑の状況や大型車の駐車行動について実態調査により把握し、その結果を踏まえ、小型車の斜角縦列駐車や大型車の縦列駐車・後退駐車を含めた効率的に駐車マス配置を行う改良提案を行っている。さらに、実際に改良したサービスエリアを対象とした駐車場利用実態調査により、収容台数の増加効果を明らかにするとともに、今後のレイアウト変更方針や留意点を提示している。この一連の研究成果は、SA・PAにおける大型車の駐車マス不足問題の実態解明と解決に向けて大きく寄与するものであり、その実務的価値を高く評価された。

一方、後退および縦列駐車方式を導入することによる駐車行動の把握、特に安全面に対する検証分析が十分でないことが、審査において課題として指摘されている。さらなるデータの取得・蓄積による安全面を中心とした縦列駐車方式導入後の検証など、今後もさらなる調査研究が実施されることを期待する。

最後に、ここ数年候補論文が1、2件であることが多くなっている。このことが受賞の価値を下げるものではないが、より多くの候補から優れた論文を選定することが望ましいのは言うまでもない。若い研究者や第一線にて活躍する実務者により、優れた論文が数多く投稿されることを願う。